



2025年3月期 第2四半期

決算説明資料

2024年10月25日（金）

すべてのひとに資産形成を。

第1部 決算概況等

1. 決算サマリー

第2四半期の営業利益は621百万円、前年比▲418百万円（▲40%）と減少 （下表4行目a-c列）

- 純営業収益は、金融収支、トレーディング損益の増加を主因に、前年比増加。
- 販管費は、新サービスへの積極的な投資等により、前年比増加。このため営業利益及び当期純利益は、前年比減少。

	単四半期			累 計		
	a	b	c	d	e	f
単位：百万円	前年比			前年比		
1 営業収益	5,784	+287	+5%	12,160	+765	+7%
2 純営業収益	5,100	+127	+3%	10,589	+698	+7%
3 販管費	4,478	+545	+14%	8,714	+860	+11%
4 営業利益	621	▲418	▲40%	1,874	▲161	▲8%
5 経常利益	605	▲423	▲41%	1,870	▲159	▲8%
6 当期純利益	343	▲184	▲35%	931	▲108	▲10%
単位：億円						
7 二市場1日個人売買代金	27,173	+6,363	+31%	26,729	+6,279	+31%
8 当社1日売買代金	1,896	+295	+18%	1,846	+296	+19%

※ 「二市場1日個人売買代金」及び「当社1日売買代金」には、ETF、REITを含む。

2. 純営業収益

第2四半期の純営業収益は5,100百万円、前年比+127百万円（+3%）と増加（下表1行目a-c列）

- ▶ 委託手数料は、手数料無料化の影響や優遇プランの適用拡大により前年比減少。株式売買代金は着実に増加。
- ▶ 金融収支及びトレーディング損益で委託手数料の落ち込みを吸収し、全体では増収。

		単四半期			累計		
		a	b	c	d	e	f
		前年比			前年比		
1	純 営 業 収 益 百万円	5,100	+127	+3%	10,589	+698	+7%
2	委 託 手 数 料 百万円	1,473	▲168	▲10%	3,015	▲361	▲11%
3	ト レ ー デ ィ ン グ 百万円	815	+347	+74%	1,436	+385	+37%
4	金 融 収 支 百万円	2,295	+147	+7%	4,647	+291	+7%
5	そ の 他 百万円	515	▲198	▲28%	1,489	+382	+35%
6	総合口座数（第2四半期末） 千口座				1,757	+151	+9%
7	新規口座獲得数 千口座	28	▲8	▲23%	67	▲2	▲3%
8	店頭FX口座数（第2四半期末） 千口座				139	+22	+19%
9	NISA口座数（第2四半期末） 千口座				287	+69	+32%
10	株式売買代金 兆円	11.7	+1.8	+18%	22.8	+3.6	+19%
11	店頭FX売買代金 兆円	23.0	▲1.0	▲4%	44.7	▲2.0	▲4%
12	期末預り資産額（第2四半期末） 兆円				3.7	+0.4	+13%
13	信用取引残高（第2四半期末） 億円				3,382	+136	+4%

※ 「委託手数料」「トレーディング」は本来営業収益だが、比較便宜のため純営業収益の内数に表示。

※ 過去の決算説明資料におけるNISA口座数について、システム上の集計に誤りがあったため、本決算説明資料6ページに詳細を掲載。

3. 販売費及び一般管理費

第2四半期の販管費は4,478百万円、前年比+545百万円（+14%）と増加（下表1行目a-c列）

➤ 新サービスへの積極的な投資等で、不動産関係費（器具備品費）や人件費が、前年比増加。

	単四半期			累 計		
	a	b	c	d	e	f
単位：百万円	前 年 比			前 年 比		
1 販 管 費	4,478	+545	+14%	8,714	+860	+11%
2 取 引 関 係 費	1,633	+115	+8%	3,170	+180	+6%
3 うち広告宣伝費	277	▲36	▲11%	574	▲1	▲0%
4 人 件 費	719	+101	+16%	1,485	+211	+17%
5 不 動 産 関 係 費	862	+162	+23%	1,621	+209	+15%
6 事 務 費	262	+36	+16%	525	+87	+20%
7 減 価 償 却 費	736	+85	+13%	1,462	+155	+12%
8 貸 倒 引 当 金	125	+51	+71%	125	+11	+10%
9 そ の 他	138	▲7	▲5%	323	+4	+1%

※ 「不動産関係費」は、不動産費と器具備品費（システム経費）の合計。

(参考) 四半期損益推移

単位：百万円	2022年度				2023年度				2024年度			
	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
1 営業収益	5,042	4,990	5,230	4,819	5,897	5,497	5,640	6,534	6,375	5,784	-	-
2 純営業収益	4,297	4,503	4,515	4,195	4,918	4,973	4,890	5,972	5,489	5,100	-	-
3 委託手数料	1,382	1,395	1,382	1,403	1,734	1,641	1,472	2,003	1,541	1,473	-	-
4 トレーディング損益	550	617	746	573	583	468	454	520	621	815	-	-
5 金融収支	1,850	1,806	1,918	1,813	2,207	2,148	2,163	2,193	2,352	2,295	-	-
6 その他	514	682	467	405	392	714	799	1,254	973	515	-	-
7 販管費	3,329	3,445	3,600	3,644	3,921	3,933	3,751	4,277	4,236	4,478	-	-
8 営業利益	968	1,058	915	551	996	1,039	1,138	1,694	1,253	621	-	-
9 経常利益	987	967	1,266	567	1,000	1,029	1,216	1,618	1,264	605	-	-
10 四半期純利益	659	771	894	564	512	527	691	877	588	343	-	-
11 株式売買代金	7.5	7.8	8.1	7.8	9.2	9.9	9.6	13	11.1	11.7	-	-
12 信用取引期末残高	2,314	2,957	2,664	3,037	2,590	3,246	2,908	3,805	3,255	3,382	-	-

※ 「株式売買代金」は単位：兆円、「信用取引期末残高」は単位：億円。

過去のNISA口座数についてシステム上の集計に誤りがあり、以下の通り訂正します

単位：千口座	正		誤	
	累計	単四半期の増減	累計	単四半期の増減
2022年3月末	164	+7	200	+3
2022年6月末	173	+9	210	+10
2022年9月末	181	+7	218	+8
2022年12月末	188	+7	242	+23
2023年3月末	197	+9	256	+13
2023年6月末	205	+8	265	+9
2023年9月末	217	+11	276	+11
2023年12月末	231	+13	290	+13
2024年3月末	258	+27	263	-27
2024年6月末	276	+17	-	-
2024年9月末	287	+10	-	-

※ 千口座未満切り捨て

第2部 新たな商品・サービスなど (発表済みプレスリリースなど)

1. SORサービス拡充・本邦初アルゴリズム提供①

モルガン・スタンレーの株式取引執行基盤活用による SORサービス拡充と本邦初アルゴリズム提供をスタート！ 2025年3月3日（月）（予定）

2024年10月25日

auカブコム証券株式会社は、モルガン・スタンレーMUFU証券株式会社（以下MSMS）との協働により、モルガン・スタンレーの日本株取引執行基盤を活用することで、SOR（スマート・オーダー・ルーティング）のサービス拡充と取引執行アルゴリズムの提供を2025年3月3日（月）より開始します（予定）。同社の取引執行アルゴリズムを個人のお客さま向けに提供することは本邦初となります。

当社は、進化・変化し続ける日本株市場の中で、MSMSのSOR・取引執行アルゴリズムの活用により、世界最高水準の性能の取引執行サービスをお客さまに継続的に提供すべく、引き続き更なるサービス拡充を検討してまいります。

モルガン・スタンレーの株式取引執行基盤について

モルガン・スタンレーの株式取引執行基盤は、世界主要各国をはじめとした35カ国以上の株式市場において、幅広い機関投資家（アセットマネジメント、年金、基金、ヘッジファンド等）のお客さまに対し、サービスを提供するグローバルなプラットフォームです。

世界中の取引所システムが年々高速化・高度化し、投資家保護の目線も高まる中、最も要求水準の高い顧客ニーズ、取引所および当局の目線に応えるため、当社は常時最先端の性能へのアップグレード投資を継続することで、世界中の機関投資家から評価・支持され、株式取引における世界トップクラスのシェアを維持しています。

(1) SORサービスの特長とサービス拡充

SORサービスの特長

①最良価格の常時検知・執行と高速発注による価格改善と約定率向上機会を提供

モルガン・スタンレーのSORは世界トップクラスのデータ授受・執行スピードを有しており、この優位性を活かし、お客さまの発注時だけでなく、全量約定時まで、各市場（東証・PTS・ダークプール）の最良価格を検知・執行することにより、高い価格改善効果と約定率向上を目指します。

また、当社に限らず一般に、SORでは複数の市場の気配を比較し、お客さまにとって最良の市場に発注します。この際に、当社以外の主要ネット証券では発注時のみSORの判定を行います（※1）、当社が提供するモルガン・スタンレーのSORは発注時だけでなく、常時最良気配の判定を行っています。

例えば、取引所ですべての注文が成立する前に、PTSやダークプールでより有利な注文が発注された場合には、取引所の注文を引き戻してより有利な市場へ注文を発注します。このような「プルバック機能」を提供しているのは、主要ネット証券では当社だけです。（※1）

（現行の当社SORでもプルバック機能を提供しておりますが、2025年3月以降はダークプールにも対応いたします）（※1）2024年9月1日時点、当社調べ

②お客さまの注文の市場へのシグナル抑制

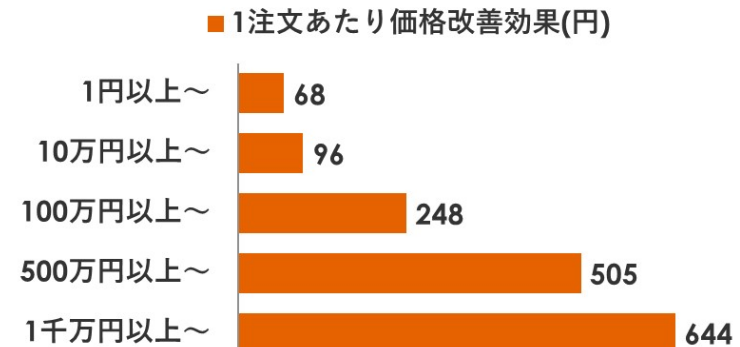
お客さまの注文はIOC（Immediate or Cancel）での発注に加え、各市場（東証・PTS・ダークプール）に高速かつ同時での到着を目指す仕様です。本仕様により、レイテンシーアービトラージ（先回り発注等）の可能性を最大限排除しております。

SOR注文のサービス拡充

従来、ご提供している自動売買サービス・注文訂正について、今般、SOR注文においてもご利用いただけるようにサービスを拡充します。

これにより、SORを利用した取引においても、多様な取引執行方法をご利用いただけるようになります。

SOR利用による1注文あたり約定金額別の価格改善効果 2023/1/4～2023/12/29実績（※2）



（※2）2018年度より当社にて提供しているSORサービスの東証最良気配対比の価格改善効果
SOR利用による価格改善効果があった注文件数は全体の14%。上表はその1注文あたり約定金額別実績です。

2025年3月以降はさらに、取引執行アルゴリズムの提供や、自動売買サービス・注文訂正への対応で、より一層の約定率向上機会を提供いたします。

1. SORサービス拡充・本邦初アルゴリズム提供②

(2) 取引執行アルゴリズムについて

世界中の機関投資家が利用するモルガン・スタンレーの取引執行アルゴリズムの中から7種類を選定、当社にて個人のお客さまがご利用いただきやすい形にカスタマイズして提供します。また、アルゴリズムの基本性能は、モルガン・スタンレーにて常時アップグレードが行われたものをご利用いただけます。

従来からご提供している当社の自動売買サービスと合わせ、14種類の取引執行サービスをご利用いただくことで、お客さまの様々な取引執行ニーズに対応します。アルゴリズムと自動売買による取引執行サービスをご利用いただきながら、SORによる価格改善と約定率向上のメリットをご享受いただけます。

ご提供予定の取引執行アルゴリズム



ステルス

ステルス

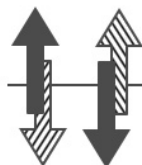
東証の板に注文を一切表示せず注文を執行するアルゴリズム。板上に自分の注文を表示させないため、他の投資家に自分の取引戦略や注文の意図を悟られることなく取引を行うことができます。



アイスバーグ

アイスバーグ

東証の板に指定した株数や割合だけを表示させ、注文を執行するアルゴリズム。板上に自分の注文を全て表示させないため、他の投資家に自分の取引戦略や注文の意図を隠し取引を行うことができます。



リバージョン

リバージョン

注文の大きさ、銘柄の売買状況などに応じて最適と思われるスケジュールでの注文執行を行うアルゴリズム。取引の際の間接的なコストであるマーケットインパクト、執行のタイミングコスト、機会コストなどを最小限にすることを目指します。



ペッグ

ペッグ

注文を常に東証の板の最良気配に表示させて注文を執行するアルゴリズム。成行注文では市場価格に影響を与えてしまい、意図しない価格で取引が成立してしまうリスクがある場合に有効です。



POV

POV

市場出来高に対して参加率を指定し、一定比率で執行するアルゴリズム。大口取引を行う際などで、市場の流動性にできるだけ合わせて売りたい場合に有効です。



TWAP

TWAP

注文株数を時間で均等に分割発注するアルゴリズム。出来高予測が難しい銘柄で大口取引を行う際などで、平均約定単価を銘柄の当日の時間加重平均約定単価に近づけたい場合に有効です。



ダークプール

ダークプール

取引所（東証・PTS）には発注せず、ダークプールのみに発注するアルゴリズム。注文のシグナルを軽減する事を目的としたアルゴリズムです。

2. JCRの当社格付

JCRがauカブコム証券の長期発行体格付を「AA」に引き上げ
～短期は「J-1+」でいずれも主要ネット証券会社最上位維持～

2024年10月25日



auカブコム証券株式会社は、2024年10月25日、日本格付研究所（「以下、JCR」）による長期発行体格付が「AA-」から「AA」へと1段階引き上げとなったことをお知らせいたします。短期格付は最高水準の「J-1+」を維持しております。

格付機関	格付対象	格付	見通し	格付付与
日本格付研究所	長期発行体格付	AA	安定的	2024年10月22日
	短期発行体格付	J-1+		2024年10月22日

詳細は、[JCRのホームページ](#) をご覧ください。

なお、いずれも下表のとおり、主要ネット証券会社の中で最上位を維持しています。auカブコム証券は引き続きこのような高い信用力の下、お客さまの大切な資産をお預かりしている責任を果たし、「すべてのひとに資産形成を。」のミッション実現につとめてまいります。

【長期系の格付】

格付	日本格付研究所（JCR）	格付投資情報センター（R&I）
	種別：長期発行体	
AA	auカブコム証券（安定的） マネックス証券（安定的）	auカブコム証券（安定的）
AA-	↑ 格上げ	
A+		
A	SBI証券（安定的）	SBI証券（安定的）
A-	楽天証券（ネガティブ）	
BBB+		松井証券（ポジティブ） 楽天証券（ネガティブ）
未取得	松井証券	マネックス証券

※カッコ内は「見通し」

（2024年10月25日現在、auカブコム証券調べ）

【短期系の格付】

格付		日本格付研究所（JCR）	格付投資情報センター（R&I）
JCR	R&I	種別：短期	
J-1+	a-1+	auカブコム証券 マネックス証券	auカブコム証券
J-1	a-1		SBI証券
J-2	a-2		松井証券
J-3	a-3		
未取得		SBI証券 楽天証券 松井証券	楽天証券 マネックス証券

（2024年10月25日現在、auカブコム証券調べ）

3. お客様満足度

J.D. パワー カスタマーセンターサポート満足度2年連続No.1 ＜ネット証券部門＞

2024年10月18日

auカブコム証券株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役会長兼社長：二宮 明雄、以下「当社」）は、顧客満足度に関する調査・コンサルティングの国際的な専門機関である株式会社J.D. パワー ジャパン（本社：東京都港区、代表取締役社長：山本浩二、以下「J.D.パワー」）が実施した「J.D. パワー 2024年カスタマーセンターサポート満足度調査SM＜金融業界編＞」において、ネット証券部門で2年連続第1位となりました。

（2024年調査は直近1年以内にネット証券のカスタマーセンターサポートを利用した2,150名からの回答による。同率1位。 japan.jdpower.com/awards）



これは、金融8業態の「コールセンター」、「オペレーターによるチャットサポート（有人チャット）」、「自動応答によるチャットサポート（AIチャットボット）」、「メール問い合わせ/問い合わせフォーム」、「FAQ（よくある質問ページ）」を実際に利用した人を対象に、カスタマーサポートの満足度を調査したものです。

当社は、「利用のしやすさ」、「用件に対し提供された情報や回答内容の適切さ」、「説明の丁寧さ/対応の丁寧さ」、の3ファクターで最高評価をいただきました。

▼詳細はこちらをご覧ください。
＜J.D. パワーのプレスリリース＞

[2024年カスタマーセンターサポート満足度調査＜金融業界編＞](#)

「すべてのひとに資産形成を。」の“ミッション”の下、当社の「お客様サポートセンター」では、すべてのひとから「ありがとう！」をいただけるように、お客さまに寄り添い、表面的な課題解決だけでなく、潜在的なニーズご要望にお応えすべく努めてまいりました。

今回の結果は、引き続きこれまでの取組みをご評価いただけたものと考えてはおりますが、これに満足することなく、今まで以上に、対応品質の向上はもとより、「お客さまのお声」を基にした改善活動と質の高いサービス提供に注力し、「お客さま本位の業務運営」に取り組んでまいります。

J.D.パワーとは

J.D. パワー（本社：米国ミシガン州トロイ）は消費者インサイト、アドバイザリーサービス、データ分析における国際的なマーケティングリサーチカンパニーです。50年以上にわたり、ビッグデータやAI、アルゴリズムモデリング機能を駆使し、消費者行動を捉え、世界を牽引する企業に、ブランドや製品との顧客の相互作用に関する鋭い業界インテリジェンスを提供するパイオニアです。株式会社J.D. パワー ジャパンはその日本法人となります。

4. 金融経済教育セミナー

小中学生向け金融経済教育セミナーを全国5都市で開催、親子432名が参加
金沢市の私立中学で「お金の可能性」をテーマに出張授業も実施
日本JC主催・auカブコム証券協賛

2024年4月25日

auカブコム証券と公益社団法人日本青年会議所 経済グループ 稼ぐ人財育成委員（事務局：東京都千代田区、会頭：小西 毅、以下、「日本JC」）は2024年2月～6月、全国の5都市（※）で小中学生の親子参加型の金融経済教育セミナー「学校では教えてくれないお金について考えよう！！」を共催し、合計432名にご参加いただきました。

また、2024年6月25日には石川県金沢市の私立北陸学院中学校で、金融経済教育の出張授業を実施いたしました。（※）福岡県福岡市、愛知県名古屋市、東京都新宿区、兵庫県神戸市、広島県広島市の5都市

親子イベント「学校では教えてくれないお金について考えよう！！」

当セミナーは、「お金を大切に使うってどういうことだろう?」「もの、ことの価値、値段って変わらないものなの?」を主要テーマに、各4～6名のグループに分かれて、カードゲームを用いてディスカッションするものです。auカブコム証券の社員が講師を務め、モノやサービスの値段を比較・議論することを通じて、「人の価値観や重要度の差異によって値段は変わることを」を知っていただき、「人はどうやって値段をつけるのか」ということをじっくり考えていただきました。



開催日	会場	参加者数
2024年2月10日（土）	福岡県福岡市	101名（大人：38名／子供：63名）
2024年3月23日（土）	愛知県名古屋市	74名（大人：34名／子供：40名）
2024年4月13日（土）	東京都新宿区	70名（大人：35名／子供：35名）
2024年5月25日（土）	兵庫県神戸市	82名（大人：40名／子供：42名）
2024年6月15日（土）	広島県広島市	105名（大人：51名／子供：54名）

北陸学院中学校 金融経済教育出張授業

auカブコム証券、日本JCは同年6月25日（火）、北陸学院中学校（石川県金沢市）で、グループワークを中心に、お金の可能性について考える出張授業を実施いたしました。

「お金で買えるもの、買えないものはなにか」「『お金では買えないもの、こと』を、どうしたら『お金を使って』手に入れられるか、それに近づくことができるか」をグループのメンバーと一緒に考えることで、お金の可能性と限界、今後の学生生活におけるお金との付き合い方を考えるきっかけ作りをしました。

開催日時	会場	参加者数
2024年6月25日（火）	石川県金沢市	1クラス（33名）

教材：「お金の力 -VALUE-」

今回、教材として使用しました「お金の力 -VALUE-」は、三菱UFJモルガン・スタンレー証券が提供する探究型の金融経済教育プログラムです。カードを使った対話やグループディスカッションを通して、お金との前向きな付き合い方を模索していきます。「お金を大切に使うとはどういうことか?」という問いと向き合うことで、お金や経済が人生においてどのような役割を果たすかを体験的に学習できます。三菱UFJモルガン・スタンレー証券では、小学生から社会人に至るまでそれぞれの年代に応じた金融経済教育プログラムを実施しています。

特に小学生、中学生、高校生、大学生の若年層の金融リテラシー向上のため、プログラムは双方向コミュニケーションによるアクティブラーニング形式となっており、お金に関する知識習得に留まらず、「総合的な探究の時間」（探究学習）（※）にも資する内容を提供しています。

※ 総合的な学習（探究）の時間は、変化の激しい社会に対応して、探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成することを目標としている（文部科学省HPより）。

第3部 その他トピックス

1. お問い合わせの利便性向上

お客様サポートセンターへのお問合せがより便利になります。 ～携帯電話フリーコール対応とダイヤル分岐シンプル化～

2024年8月6日

2024年8月26日（月）より、お客様サポートセンターが、以下の通り、更にご利用しやすくなります。

01 お客様サポートセンターへの携帯電話通話料無料化

かねてよりお客さまよりご要望いただいております「お客様サポートセンターへの携帯電話による通話料無料」を行うことになりました（※050から始まるIP電話を除く）。

これまで固定電話からのみご利用いただいておりますフリーコールは、2024年8月26日（月）より携帯電話からも無料でご利用いただけます。なお、050で始まるIP電話につきましては電話番号が変更になりますのでご確認くださいませようお願い申し上げます。

詳細は以下の通りです。

■ 2024年8月26日（月）より

<口座をお持ちでないお客さま>
固定・携帯：0120-390-390（変更なし）
050で始まるIP電話：03-4221-1224（変更あり）

<口座をお持ちのお客さま>
固定・携帯：0120-230-230（変更なし）
050で始まるIP電話：03-4221-1222（変更あり）

オペレーター受付: 平日8時～16時（年末年始除く）

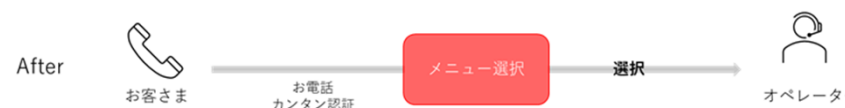
02 口座をお持ちのお客さま向けダイヤル分岐のシンプル化

自動音声応答（IVR）サービスのダイヤル分岐について「わかりづらい」というお声を受け、この度見直しをいたしました。本見直しによりダイヤル分岐メニューの数が大幅に縮小し、お客さま操作の負荷軽減とオペレーターへ繋がる時間を短縮することが期待できます。

※オペレーターによる注文・出金を希望される場合、お電話カンタン認証の登録・設定が必要です。

（例）

お電話カンタン認証後、メニュー番号のみでオペレーターへ繋がります。ダイヤル分岐メニュー数も大幅縮小（28項目⇒4項目）。



03 株価照会専用ダイヤルの新設

株価照会もスムーズに行っていただけるよう、株価照会専用の電話番号を新設いたしました。

※株価照会には、お電話カンタン認証の登録・設定が必要です。詳細は以下の通りです。

<新電話番号>
固定：0120-297-380
携帯・050で始まるIP電話：03-4221-1225

※**株価照会は携帯電話での通話は有料です。**
※ログイン後画面で株価照会が無料で可能です。

当社は今後も当社のミッションである「すべてのひとに資産形成を。」を実現すべく、さらなる進化を追求してまいります。引き続きご愛顧のほど、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

2. 入出金の利便性向上

「お客様の声」に対応した 入出金の利便性向上への取り組み（第2弾） ～すべてのお客様がシームレスな資金移動ができるように～

2024年9月6日

当社は、お客様のより良い資産形成のために、お客様からいただいたご意見やご要望を「お客様の声」（以下「お声」）と呼び、日々改善活動を行っております。

この度、引き続き「お声」が多い入出金に関する改善要望にお応えして、下記のスケジュールで改善を行ってまいります。

	施策	予定日
1	入金サービス名称の変更	10月5日
2	入金時のUX（ユーザーエクスペリエンス）の変更	10月5日
3	ソニー銀行と提携開始（インターネットバンキング）	10月5日
4	マイページTOPに買付可能額表示や、入金・出金ボタンの設置	2024年12月以降

1. 入金サービス名称の変更

入金サービスは、お客様にとって似たような名称でわかりづらいものが多く、当社の入金サービスにおいても、口座振替という名称が入っている入金サービスが3つもあります。この度、その名称から直感的にサービスがイメージできるように、名称変更を行います。

また、新たにお客様の行動に即したタイトルをつけ、お客様の入金ニーズにあったサービスを選びやすいようにいたしました。なお、はじめは慣れないと思いますので、サービス名称の後に()書きで、旧名称がイメージできるような名称としています。

<入金サービス名称>

	旧（10/5まで）	新（10/6以降）
1	(タイトル新設)	【都度入金】お客様のタイミングで入金する
2	口座振替（リアルタイム口座振替）	スムーズ入金（リアル口振）
3	ネット振込	フルタイム入金（ネット振込）
4	口座振替（自動引落）	銀行引落（自動引落）
5	(タイトル新設)	【自動入金】あらかじめ設定して入金する
6	auマネーコネクト自動入金	auマネーコネクト自動入金（※変更なし）
7	口座振替（自動引落）	定期自動引落（積立）
8	口座振替（その他金融機関からの自動引落）	口座振替（その他金融機関からの自動引落）（※変更なし）
9	口座振込	【振込入金】各金融機関から振込する

「【都度入金】お客様のタイミングで入金する」とは

入金したい時に、当社の提携銀行であれば無料で入金できるサービスです。フルタイム入金（ネット振込）は事前契約等はありませんが、スムーズ入金（リアル口振）と銀行引落（自動引落）は初回だけ事前契約が必要となります。なお、銀行引落（自動引落）は、入金依頼から入金反映まで2～5営業日かかりますので、ご注意ください。

「【自動入金】あらかじめ設定して入金する」とは

事前に契約や設定をしておけば、毎月定期的に無料で自動入金できるサービスです。auマネーコネクト自動入金、定期自動引落（積立）、口座振替（その他金融機関からの自動引落）で、投資信託やプチ株®（単元未満株）の定期買付に利用できます。

（後略、詳細は以下URL）

3. スマホ版アプリでの先物取引に機能追加

auカブコム証券アプリ（スマホ版）での先物取引に 優先発注方法設定機能を追加

2024年9月30日

先物取引における、auカブコム証券アプリ（スマホ版）の新規注文および返済注文について、2024年9月30日（月）夕刻より以下の内容を実施いたします。

■実施する内容

- ・「優先発注方法設定」機能の追加
- ・当該機能により発注画面表示時の先物SORの初期選択設定が可能
- ・先物SORの初期選択設定はPC版と同期される状態に変更

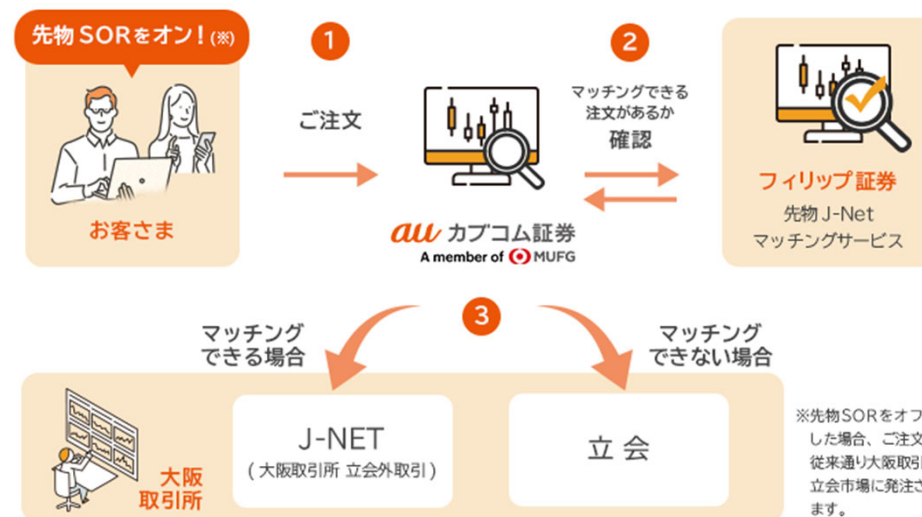
auカブコム証券アプリ（スマホ版）の「アプリ設定」の「取引設定」に「優先発注方法設定」機能を追加します。当該機能により先物新規注文および先物返済注文の画面表示時の先物SORの初期選択設定が可能になります。

- ※ 「優先発注方法設定」機能の追加に伴い、先物SORの設定情報は、お客さまが使用するブラウザから当社サーバに変更となります。
- ※ 当該機能提供開始の際、先物SORの初期選択設定はPC版と同期される状態となりますので、ご注意ください。

先物SOR取引とは

先物SOR注文はauカブコム証券が提供する先物取引のサービスの一つで、フィリップ証券が提供するシステム（先物J-Netマッチングサービス）にて、お客さまのご注文全数量が取引所最良気配価格と同値または有利な価格で約定できる場合のみ機関投資家の注文とのマッチングを行うことによって、通常先物取引（立会取引）よりもお客さまの約定価格を改善することを実現しています。

- ※ 先物SOR発注時に対当した価格が必ずしも約定時における有利な価格を保障するものではありません。
- ※ 先物J-Netマッチングサービスでは、当社またはフィリップ証券の自己勘定取引とマッチングはいたしません。
- ※ 先物SOR取引（J-NET取引）において、お客さまの注文を故意に不利な取引の条件で執行することはございません。



日々ニュースやSNSでよく耳にしている馴染みのある株価指数をもっとお得にお取引することができます。

注文時に「先物SOR」をオンにするだけで利用できるのも、初心者の方にもおすすめです！

ワンクリックでかんたん！

先物SOR注文で
もっと安く、もっと有利に投資できる！

auカブコム証券の
先物取引

日経平均 TOPIX JPX日経400
東証グロース NYダウ

詳しくはこちら▶

▶ [先物・オプションに関するご注意事項](#)

4. 「kabuステーション®」の機能拡充

「kabuステーション®」の機能拡充
～文字サイズ変更対象画面、カブボード連携機能、
個別通知など追加～

2024年10月15日



高機能・高速トレードツール「kabuステーション®」は、2024年10月12日（土）にバージョンアップを行い、機能拡充・改善をいたしました。

【内容】

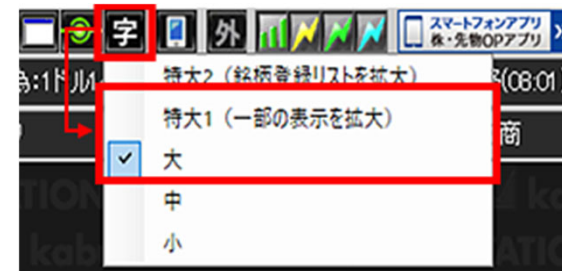
- 文字サイズ変更の対象画面の追加
- カブボードとの連動機能を追加
- kabuステーションお知らせに個別通知を追加
- デイトレード信用取引の入札方法変更に伴う対応
- その他軽微な画面改善の対応

文字サイズ変更の対象画面の追加

個別銘柄・詳細の[価格]タブの画面の文字サイズが「大」、「特1」へと変更した際に大きくなります。
フル板発注や発注パネルなどにある「銘柄情報 >>」を選択して表示される価格情報も同様に対応いたします。



文字サイズ変更はメニューの「字」アイコンから可能です。



カブボードとの連動機能を追加

kabuステーション®の銘柄登録リストとカブボードに登録している銘柄を、手動アップロードとダウンロードにて双方向での連動が可能です。

※ 表示可能な銘柄はkabuステーション®とカブボードで差異があり、一部制約がございます。

(後略、詳細は以下URL)

https://kabu.com/company/pressrelease/20241015_1.html

5. セキュリティ対策 二要素認証を導入

認証メールアドレスを利用した二要素認証導入

2024年9月25日

2024年9月26日（木）以降、順次ログイン操作時における二要素認証を導入いたします。 すべてのお客さまに一齐に導入するのではなく、複数の口座に分けて段階的に導入いたします。

二要素認証導入後の初回ログイン操作時及び不正アクセスの危険性が高いと当社が判断した場合、二要素認証をしていただく必要がございますのでご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

リスクベース認証について（不正アクセスの危険性が高いアクセス）

リスクベース認証とは、お客さまが弊社サイトにアクセスされた際の環境（ご利用端末、所在地など）やネットワーク環境を分析し、普段と異なる環境からのアクセスと判断された場合、悪意ある第三者からの不正なログイン等を防止するため、認証メールアドレス等で二要素認証を求める仕組みのことです。

※ リスクベース認証の判定方法についてはセキュリティの観点上、非公開となっておりますのでお答えいたしかねます

ログイン操作時の二要素認証方法

当社では、二要素認証方法を2つご用意しておりますが、お客さまの登録状況によりご利用いただける二要素認証方法が異なります。なお、認証メールアドレスの登録がある場合は、認証メールアドレスによる認証方法が優先されます。

認証メールアドレス 登録・認証状況	認証方法	
	認証メールアドレス	リカバリーコード
登録済・認証済 「○登録済み」	利用可能	利用可能
登録済・未認証 「△認証待ち」	不可 (認証操作を行った場合のみ利用可能)	利用可能
未登録 「-」	不可	利用可能

- ※認証メールアドレスの登録状況は、ログイン後ページ「セキュリティ設定」画面にてご確認ください。
- ※認証メールアドレスを登録・認証いただいた場合、「○登録済み」となり次回以降、認証メールアドレスもご利用いただけるようになります。

認証メールアドレスによる認証方法

認証メールアドレスの登録・認証済のお客さまがログイン操作時に二要素認証を求められる場合、「ワンタイム認証コードを送信しました」画面が表示されると同時に認証メールアドレス宛にワンタイム認証コードを通知します。受信したワンタイム認証コード（数字6桁）をワンタイム認証コード入力欄に入力し、「続ける」ボタンを押下すると認証が完了いたします。

- ※ ワンタイム認証コードが届かない場合、リカバリコード発行による認証方法をお試しください
- ※ 認証メールアドレスの認証が完了していないお客さまは操作画面の遷移が異なります。

(後略、詳細は以下URL)

6. セキュリティ対策 認証アプリをリリース

セキュリティ対策 二要素認証導入について【続報】

2024年10月18日

2024年10月19日（土）に今までの二要素認証方法に加え、スマホアプリで認証が行える「auカブコム証券 認証アプリ」をリリースします。事前にダウンロード・登録いただくことで、ログイン操作時および出金操作時の二要素認証がプッシュ通知によりスムーズに行えるようになります。

2024年9月26日（木）以降、順次ログイン操作時における二要素認証を導入しております。二要素認証導入後の初回ログイン操作時および不正アクセスの危険性が高いと当社が判断した場合、二要素認証をしていただく必要があります（口座番号とパスワードだけではログインできなくなります）のでご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

▶ [リスクベース認証について](#)（不正アクセスの危険性が高いアクセス）

「auカブコム証券 認証アプリ」概要

「auカブコム証券 認証アプリ」は、認証操作を行うためのスマホアプリです。



ログイン操作および出金操作時に求められる二要素認証方法として利用いただけます。利用には、事前にダウンロード・登録いただく必要があります。

※ 登録いただける端末は、おひとりにつき1端末です。複数の端末は登録できません。

▶ [「auカブコム証券 認証アプリ」による認証方法を確認する](#)

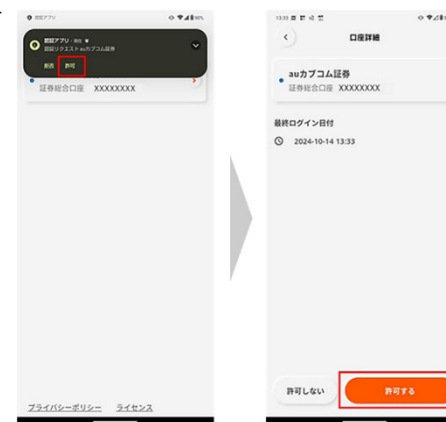
auカブコム証券 認証アプリによる認証方法

「auカブコム証券 認証アプリ」の登録済のお客さまがログイン操作に二要素認証を求められる場合、「本人確認画面」が表示されると同時に、登録の端末にプッシュ通知されます。通知内容をご確認いただき、「許可する」ボタンを押下すると認証が完了します。

<iPhoneの場合>



<Androidの場合>



プッシュ通知による認証ができない場合は、認証アプリ上に表示されるワンタイムコード（数字6桁）による認証操作も可能です。

（後略、詳細は以下URL）

https://kabu.com/company/pressrelease/20241018_3.html

各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。当社ホームページにて取引内容、リスク等の説明内容事項をご覧ください。

- ※ 証券投資は、価格変動、金利の変動、為替の変動等により投資元本を割り込む恐れがあります。自動売買を含むすべてのご注文は必ず約定するものではありません。お取引の際は、目論見書、約款・規程集及び契約締結前交付書面等をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等をよくご理解の上、ご自身のご判断で無理のない資産運用を行ってください。
- ※ 投資信託の購入は、基準価額の変動により元本を割り込み損失を被ることがあります。ファンドにより販売手数料とは別に、信託報酬・解約手数料・その他手数料等を要するものがありますが、各ファンド別に要件・料率等が異なりますので表示できません。お取引に際しては、目論見書（商品毎） および目論見書補完書面（投資信託）をよくお読みください。
- ※ 信用取引・指数先物取引・指数オプション取引は、保証金または証拠金以上のお取引が可能であるため、保証金または証拠金を超える大きな損失を被ることがあります。又、取引期限があり取引期限を越えてのお取引はできません。
- ※ 外国為替証拠金取引FXは、取引金額がお客さまが預託しなければならない証拠金の額に比べて大きい額となっており、投資額以上の損失が生じる可能性があります。又、外国為替証拠金取引は元本や利益を保証するものではなく、為替変動リスクや金利変動等のリスクを伴います。本取引において当社が提示する売値と買値の間には差額があります。
- ※ 外国債券の価格は、金利水準の変動により上下するため、償還前に売却する場合には、元本損失が生じることがあります。また、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに対する外部評価の変化等により、損失を被ることがあります。外国債券は、為替相場の変動等により、元本損失が生じたり、債券を発行する組織発行体が所属する国や地域、取引がおこなわれる通貨を発行している国や地域の政治・経済・社会情勢に大きな影響を受けたりするおそれがあります。外国債券を購入する場合は、委託手数料はかかりませんが、売買における売付け適用為替レートと買付け適用為替レートには差額があります。上記、適用為替レートは債券の起債通貨によって異なり、実勢レートに基づき当社が決定します。
- ※ お取引に際しては、契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やお取引ルール等をよくご理解の上、ご自身のご判断で無理のない資産運用を行ってください。
- ※ 各商品等へのご投資には、商品毎に所定の手数料等が必要です。詳しくは当社の手数料ご案内ページ<https://kabu.com/cost>等をご参照ください。手数料には消費税が含まれています。
- ※ 掲載情報の最新情報は当社ホームページ<https://kabu.com/>にてご確認ください。
- ※ ご投資にかかる手数料等およびリスクについてはこちら（<https://kabu.com/company/info/escapeclause.html>）をご参照ください。

本資料に記載されている事項は、資料作成時における当社の見解であり、その情報の正確性を保証またはお約束するものでございません。今後、予告なしに変更することがございます。

1	企業・開示情報	https://kabu.com/company/
2	決算短信・決算説明資料	https://kabu.com/company/disclosure/accounting_line.html
3	口座数・約定情報等の推移	https://kabu.com/company/monthly_disclosure/order/default.html
4	顧客投資成績（信用評価損益率）の推移	https://kabu.com/company/monthly_disclosure/score/default.html

auカブコム証券株式会社

金融商品取引業者登録：関東財務局長（金商）第61号 銀行代理業許可：関東財務局長（銀代）第8号 電子決済等代行業者登録：関東財務局長（電代）第18号

加入協会（加入順）：日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人 日本S T O協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会